

2025年3月19日

サステナビリティ経営の実現を目指す森永乳業 森永乳業初のメガソーラー※1 が利根工場に誕生 年間約 570t の CO₂ 削減

森永乳業は、再生可能エネルギーを活用した GHG 削減の取組みの一環として、利根工場に新たに発電容量が約 500kW のカーポート型太陽光発電設備を増設し、このたび稼働を開始しました。すでに設置されている 600kW の設備と合わせて、発電容量が約 1,100kW となり、森永乳業グループとして初のメガソーラーが誕生しました。既存設備を含む利根工場全体で、CO₂ 排出量が年間約 570t 削減されることを見込んでいます。

※1 メガソーラー:1メガワット(1MW=1,000kW)以上の大規模な発電容量を持った産業用の発電設備のこと。



利根工場駐車場に設置したカーポート型太陽光発電設備

◆利根工場太陽光発電設備概要 *()内は今回導入した設備

- ・太陽光パネル:3,400 枚(1,200 枚)
- ・総パネル面積:約 5,955 平方メートル(2,343 平方メートル)
- ・発電容量:約 1,100kW(約 600kW)
- ・想定年間発電量 :約 1,300MWh (600MWh)

利根工場で電力会社より購入している電力のうちの 30%以上※2、一般般家庭の約 310 世帯分(4,175kWh/世帯 として試算)に相当します。

※2 2023年4月-2024年3月 比

◆補助事業

環境省:令和6年度 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(ソーラーカーポート事業)

◆乳業グループの太陽光発電設備の取組み

当社グループは、これまで東京多摩工場、フジポート熊本工場にて設備を導入し、また、2025年春に神戸工場と佐呂間工場の太陽光発電設備が稼働開始予定です。利根工場の設備と合わせて、森永乳業グループにおける太陽光発電で年間約1,600tのCO₂削減を見込んでいます。また、神戸工場においてはFIT制度(再生可能エネルギーの固定価格買取制度)の認定を受けた太陽光発電事業にも取り組んでおります。

森永乳業は、コーポレートスローガン「かがやく“笑顔”のために」のもと、サステナビリティ経営の実現を目指し、「『おいしいと健康』をお届けすることにより、豊かな“日常・社会・環境”に貢献し、すべての人のかがやく笑顔を創造し続けます」というサステナビリティビジョンを掲げています。このサステナビリティビジョンの実現に向けた活動を推し進めるべく、2022年に「サステナビリティ中長期計画2030」を策定しました。その中の「資源と環境」で、2030年度までにScope1+ Scope2におけるCO₂排出量削減率38%以上(2013年度比)を目標としており、達成に向けて取り組んでまいります。

◆森永乳業ウェブサイト ～森永乳業のサステナビリティ～

<https://www.morinagamilk.co.jp/sustainability/>

以上